動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合
〒260 千葉市中央区要町２番８号（動力車会館）
電話｛（鉄電）千葉 2935・2936番
（公）043（222）7207番

93.3.23 No.3762

―「JR体制」による新採獲得への―

不当労働行為の実態

3・25-4・1ストに向けて その2

本誌三六七一号で既報の通り、九一年度から再開された新規採用者は、速成的に一年で車掌に登用され、「車掌経験三年」の期間さえ短縮する形で、運転士への道が「約束」されたものとなっている。

（九一年度千葉支社配属七九名、男性六〇名中五二名が車掌となっている。又、九二年度千葉支社配属新採七六名のうち、男性五九名の大半が現在車掌見習い中である）

この新規採用者全員が、ＪＲ総連に加入していることも既報の通りであるが、その組合加入に当たって驚くべき不当労働行為を行なってきた実態の一端が明らかとなった。

別掲の資料は、来年度（九三年度）新規採用者獲得を記した、ＪＲ東労組千葉地本外房支部の書面である。この書面が示すものは、**①、来年度新規採用される合格内定者の名簿が、少なくとも一月の段階でＪＲ東労組に渡されていること、②、各地区「懇親会」における、地区指導センターへの協力要請＝役割が明記されていること**である。

まさにＪＲ当局とＪＲ総連一体となった「ＪＲ体制」による不当労働行為の「氷山の一角」を、ここに垣間見ることができる。

再開された新規採用者を、ただの一人も運転関係の職場に配属せず、（九二年度採の場合、機械区・建築区・電力区・信号通信区に配属している）運転士への最短コースを歩ませ、予科生の差別・選別登用を強行し、一方で**強制配転者の「塩づけ」を継続する、「動労千葉シフト」こそ許すべからざるものだ！**

われわれは、地上勤務者・強制配転者を中心とした春季第二波ストライキへの総決起を通し、唾棄すべき「ＪＲ体制」を粉微塵に粉砕しなければならない！

「塩づけ」攻撃に、嵐の春季第二波・第三波ストを叩きつけよう。

氏名	住所	高校等	先輩
鬼島 淳雄	297 茂原市上林294-22	大原	☆
元吉 淳	297 茂原市大登 67	東京観光 専	
伊丹 孟洋	299-27和田町仁我浦122-2		
木村 和幸	299-32大網町白里町大網290	白里	
大塚 良一	駒込131-1		
小山 敦子	駒込1354	国際トラ＆モート専	伊達 ＊
片岡 誠	299-42白子町 五井1726	一宮商業	西川 小山
益田 友典	299-43長生村一松12号1351		＊
岡田 和久	299-52勝浦市 大楠540	茂原工業	東条

＊は女性 ☆はモハ長

①２月中・下旬に「懇親会」を茂原地区にて開催する計画です。又指導センター等の協力も要請します
②家庭訪問の際、手土産２、０００円程度のものを持参する事。
③動員者には２、０００円を行動費として支給します。
④会社は大卒・９１、９２、採用組合員をエスコートスタッフとして既に４回程度接触しています。

1993年1月28日 外房支部執行委員長 中谷雄松

「動労千葉ツフト」を粉砕しよう

ストライキを貫徹 3・28三里塚へ

闘いの配置

三・二五春季第二波ストライキ

(1)、スト対象者及び対象時間

①、営業関係強制配転者を対象とする、一五時以降の時限ストライキ（スト対象時間については個別に指示する）

②、習志野運輸区、幕張電車区及び幕張電車区木更津支区の全日勤者（地上勤務者）を対象とする、終業時前一時間の時限ストライキ

(2)、「九三春闘勝利・格差攻撃粉砕、原職復帰実現、第二波・第三波スト貫徹、動労千葉総決起集会」

千葉市民会館小ホールにて同日一七時三〇分開催！

四・一～二春季第三波ストライキ

(1)、スト対象者及び対象時間

①、全本線運転士を対象とする四月一日正午より四月二日正午までのストライキ（但し貨物・いすみ鉄道を除く）

②、新小岩支部及び佐倉支部の全日勤者（地上勤務者）を対象とする、終業時前一時間の時限ストライキ

③、営業関係強制配転者を対象とする、一六時より終業時までの時限ストライキ（但し、泊勤務者を除く）

(2)、「スト貫徹、動労千葉総決起集会」

千葉市民会館小ホールにて同日一七時三〇分開催！

新小岩支部、津田沼支部、幕張支部、千葉転支部、京葉支部、総武支部、佐倉支部は同集会に結集すること。その他支部については、同時刻を目途に、各拠点ごとに総決起集会を開催すること。